



▲今後は、定例的に開会する定例会議や、緊急に審議が必要な場合に開会する緊急会議などが開かれます。

通年議会が開会
現行の年4回の定例会を廃止し、概ね一年間の会期となる通年議会が11月2日、開会しました。会期は11月から翌年の10月まで。通年議会は、議長権限で必要に応じて会議を開くことができます。このため▽行政に対するチェック機能の強化▽災害など緊急時の迅速な対応が可能▽委員会等審議の機会の確保などのメリットがあります。
安来市議会では昨年9月に「安来市議会基本条例」を制定し、通年議会の準備を進めてきました。

東比田地区でデマンド交通

市内2例目となるデマンド交通の運行が10月から東比田地区で開始。予約することで自宅から国道沿いのバス停までの送迎をしてもらうことができます。運転は、所定の講習を受けた約40人のボランティアドライバーが担います。

運営協議会会長の仙石晃さんは「軒先まで乗り入れができるので高齢者に好評です。重い荷物のため買い控えされていたのが、たくさん買われるようになりました」と話しました。

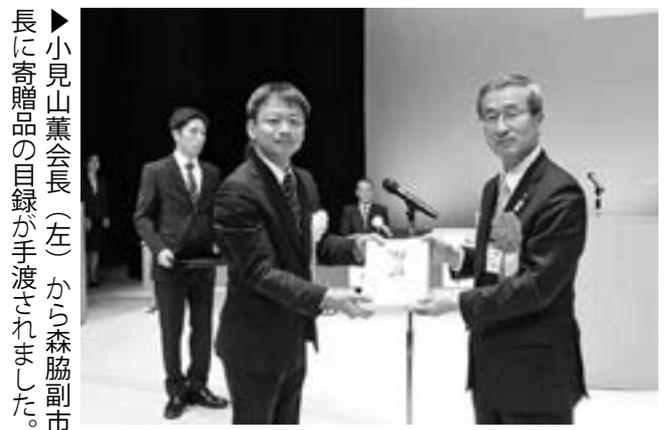


▲市から運営協議会に運行車両が引き渡されました。

安心・安全を目指して協定

市と安来警察署とは、「ドライブレコーダを活用した市民の見守り活動に関する協定」を10月16日、締結しました。市が保有するイエローバスには、ドライブレコーダを搭載。この協定で、事件時には、記録データを警察署にすみやかに提供することができるとされています。

曾田署長は「今年に入り管内では4件の声掛け事件が発生しており、通学路の安全が急務です。今回の協定は、犯罪の予防効果も期待できます」と話していました。



危険物保安協会からAED寄贈
安来市危険物保安協会（正会員数50人・賛助会員17人）が設立60周年を迎え、10月28日に総合文化ホールで記念式典が行われました。設立は昭和34年11月。石油などの危険物を扱う事業所の自主保安を目的に組織されました。年間を通じて講習会や消火競技会などの活動に取り組んでいます。
式典では、記念品として協会から市へAED（除細動器）一式が寄贈されました。市では消防本部に配備し、救急業務に活用していきます。



▶協定を締結した近藤市長と曾田署長。中央はほりすあらエッサくん。